

第7回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録

会議名	第7回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会
開催日時	令和5年11月7日（火）午後2時から午後3時30分まで
開催場所	板橋区立グリーンホール7階 701会議室
出席者	<p>[委員]9人(敬称略) 長澤重隆（部会長）、松村良子、田口晋、沼和子、小池睦美、矢野由加、平野江里子、前田康夫、林栄喜</p> <p>[オブザーバー] いたばし総合ボランティアセンター所長、副所長</p> <p>[事務局] 地域振興課長、地域振興課地域振興係職員</p>
会議の公開 (傍聴)	非公開、ただし要点記録は作成
傍聴者数	なし
議題	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 第6回協議会の振り返り</p> <p>(2) 今回の検討事項等について</p> <p>(3) 第6回協議会・区民環境委員会・パブコメを受けての論点・課題</p> <p>(4) ビジョン素案の新旧対照表について</p> <p>(5) ビジョン最終案について</p> <p>3 閉会</p>
配付資料	<p>資料⑦-1 第6回板橋区ボランティア活動推進協議会 要点記録（案）</p> <p>資料⑦-2 第7回ボランティア活動推進協議会専門部会 検討事項</p> <p>資料⑦-3 第6協議会・区民環境委員会・パブコメを受けての論点・課題</p> <p>資料⑦-4 「ビジョン（素案）新旧対照表」</p> <p>資料⑦-5 「いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン2030」（最終案）</p> <p>資料⑦-6 「いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン2030」（最終案）概要版</p>
部会長	<p>1 開会</p> <p>皆さんどうもこんにちは。8月8日の協議会からこの間に区民環境委員会とか、パブリックコメントが間に入りまして、今日またそこに一部、部分的に変更箇所が発生しております。今日はそれを皆さんに確認していただきながら、最後のこのビジョンに関しての総括をして、最終回の協議会の方に提言していきたいということです。今日は専門部会として最後になりますので、本当にありがとうございました。後でまた、ご挨拶しますけども。冒頭にまずそれを申し上げます。それでは始めたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは早速ですけど事務局から、出席は皆さん全員そろってますけど、出席とそれから配布資料の確認の方よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>皆様こんにちは。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。本日の会議も会議録を作る関係で、録音させていただきますのでよろしくお願ひいたします。委員の出席は9名中9名ということで、専門部会は正式に成立してございます。今、部会長の方から資</p>

	<p>料の確認ということをお願いしたので、引き続き、お手元に配りました資料の確認をさせていただければと思います。今日は全部で6点でございます。次第のほか、資料⑦-1、第6回の協議会の要点記録。資料⑦-2、専門部会の検討事項。A4横になってございます。資料⑦-3、協議会や区民環境委員会・パブリックコメントを受けた論点と課題を整理したものとなっております。資料⑦-4がビジョン素案の新旧対照表。A3横になっているものでございます。資料⑦-5、ビジョンの最終案本編となっております。一番下についておりますのが資料⑦-6、最終案本編の概要版という形で、A4横で添付させていただいております。何か足りない資料ございますでしょうか。それでは議事運営の方よろしくお願ひいたします。</p>
部 会 長	<p>はい。ありがとうございました。本編を見ながら、或いはその変更箇所見ながら、皆さんどちらでもいいです。今日は、いくつかの変更箇所も出てますので、皆さんに確認をしていただく作業をしていただきながら、最終案の確認していきたいと思ひます。それでは次第に沿っていきまして、まず、振り返り、それから今回の検討事項の資料に関して、改めて事務局の方からご説明よろしくお願ひいたします。</p>
事 務 局	<p><資料⑦-1、資料⑦-2の説明></p>
部 会 長	<p>区民環境委員会とパブコメの意見に対して区側の考え方を説明をした資料説明よろしくお願ひします。</p>
事 務 局	<p><資料⑦-3、資料⑦-4、資料⑦-5、資料⑦-6の説明></p>
部 会 長	<p>はい。ありがとうございました。修正箇所を中心にご説明をいただきました。それから今の追加の資料編のところですね、本編の資料編のところ、3ヶ所またページが追加されております。順番に、まず協議会の意見を受けての資料⑦-3の変更箇所、特にアンダーラインの引かれた箇所になります。その変更と受けましたけど、ここに関しては、よろしいでしょうか。災ボラが何度か出てきますけど。アンダーラインは強調したという意味ですか。</p>
事 務 局	<p>変更追記したっていう意味です。</p>
部 会 長	<p>本編の中にアンダーラインを入れて変更事由について説明しているとのことで、この変更について、何か皆さん、ご意見ありますでしょうか。</p>
委 員 員	<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5ページの災害時のボランティア活動の注釈は、災害時におけるボランティア支援活動等に関する協定書が、現在は板橋区と社協で締結されているということでもいいのか。その時々によってアップデートされていくっていう前提でいいのか。
部 会 長	<p>私もそう受けとめているんですが、いいんですね。はい。そういうことで。ほかにありますでしょうか。ビジョンという言葉の打ち出し方とプラットフォームの施策を打ち出し方が、多分まだじっくりしてないんで、初めて見る人からはじっくりしてないところがあるので、そこに関しては、確かに注目されてご意見なり感じますけど。区民環境委員会の質問の中で、5番目にある、運営方針について、行政計画とは違うから、今回はあくまでもボランティアセンターのビジョンということで、回答されてるんですけど。この委員さんは、わかりましたっていう感じだったんですか。</p>
事 務 局	<p>この委員はですね、変更を希望しております。もう一度検討していただけないかという意味合いでのご意見です。</p>

部 会 長	それはミッション・ビジョン・バリューという、そういう観点が足りないという。或いはその行政計画のそういうつくり方に沿ってないからというそういうニュアンスですか。
事 務 局	「この三つのうちの運営方針というのは、ビジョンなんですか。」という端的な簡単な質問なんです。
委 員	おっしゃっていることは理解できる。ビジョンがあってその下に、やはり運営方針が紐づくっていう形態の方が、受け入れられやすいだろうと思う。
部 会 長	いかがでしょうか。はい。
委 員	(委員意見) ・パブリックコメントで区民・NPO法人・社協・板橋区の四者でと書いてあるが、この四者協働と、過去の四者協働は違うという認識で問題ないか。少なくとも、こう答えるのはちょっと違うのではないか。原案のところで、この四者は、社協に限定されていないはずなので、回答の仕方を変えたほうが良いと思う。「形態でした」とか。
部 会 長	珍しい運営形態でしたっていう過去形なんかにすれば。
事 務 局	質問者が過去について触れてるんです。なので、答えとしては過去20年間全国でも特殊な四者協働っていうのを持っていたよということなんです。今の委員さんのお話は、回答もその過去のことをいっているんです。「確かにそうですね」と追認する形で。こちらの方は混乱しないように、また事務局で少し修正するだけ大丈夫かと思えますので。対応させていただきたいと思えます。
委 員	(委員意見) ・役員会がどういう位置づけで、この計画に関わっているのか、入ったほうが良いのではないか。
事 務 局	本編の20ページの左上の図のところに役員会・運営委員会というような形が入ってるんですが。回答に本編20ページというようなことでは、一切出てきていないので、冒頭のところの回答で、「ボラセンの運営形態ということで、本編20ページを参照してください」というような、文言を追記すれば良いと思えますので、対応させていただきます。
部 会 長	さっきのビジョンの運営方針のところ、区民環境委員会の運営方針のビジョンが、違和感があるという回答が、これはあくまでもこのボラセンのビジョンなんで、行政とは違うから、このままでいきますみたいなニュアンスで、回答されている。これはこのままでいいですか。
委 員	(委員意見) ・このままでいいのではないか。ご指摘の場面では運営方針というのは、いろいろな運営にあたっての手続き等といったものを決めてというのが通例ということで、それはビジョンという理念的なものとは、ちょっと違うんじゃないかというような意見が背景にあるではないか。このビジョンの中では、運営方針の中に、いわゆる理念的なところを網羅していると考えるので、今回については、運営方針をそういった部分で見ると、ビジョンを支えるものの一つとして、当てはまるのではないか。

部 会 長	<p>はい。運営方針の中身は以前あったものから、運営の主体の表現がこう変わってきたという意味の運営方針の変化でビジョンの中に表現してることで、ここは確かに、今までの過去とは違う、環境の変化で変わったよというところを大きく打ち出したという意味では、今回のビジョンでやっぱり核になるところだと思います。それはそれで言葉がどうかは別としても、ここは大切なところだろうなと私も受けとめています。</p> <p>その他に、どうですか。今の資料⑦-3及び4の変更箇所について、一部修正箇所が入ってますけど、この変更箇所の2ページ目のプラットフォームの構築のための方策の表の中、強調点の既存事業、特にイの基礎事業の整備ところにアンダーラインを引いてあるのは何に対して引いているのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>簡単に、補足させていただきますと、この表5の中のイの既存事業の整理。特に②と③についてはですね、さらに、この後詳細の文章を追加したんです。これが3ページ目の上の文章と関連づけるために、下線を引っ張りながら、関連性があることを強調したくて、下線を引っ張ってます。本編でいうと10ページ目から11ページ目。11ページ目の上の方に「イ既存事業の整備で、②地域活動を支える人材育成及び③各主体との連携・協働の強化について発展させる必要があります」ということで、あえてこの②と③だけピックアップして述べてるんです。さらに「③各主体の連携強化の方向性は以下のとおりです」ということで表形式になっています。</p>
部 会 長	<p>どうでしょうか。考えてみて何もなければこの通りやります。その他に変更箇所に関しては、何かありますか。</p>
委 員	<p>(委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンところに運営方針を入れる意義があるんだというご意見はもっともだが、20ページに載ってるのは昔の基本構想で、これに基づいての役員会というのは変わってくると思う。今回は新しいビジョンにのっとった形での役員会・運営委員会だということを、「どういう形で、役員会を構成するのか」ぐらいのことは触れとくれたほうが良いかと思う。 ・「公募等により、委員を募って」、を「運営委員を募り」にして、下に役員会のことを、この区民・地域団体・法人・板橋区で、例えば役員会を組織するとか、何か記載してもらえばいいのではないか。
事 務 局	<p>今のお話を整理させていただきたいんですが、本編の29ページ資料編、これが今のビジョンの前に作った設置に関する基本構想になります。この基本構想では、項番の3に、総合ボランティアセンター組織という項目があって、(1)が運営委員会の設置、(2)が役員会の設置、(3)が事務局の設置。こういうことで、今委員の方から出ている、要望がまさしくここに載っているんです。今回のビジョンというのが、運営方針と書かれているものが、ビジョンに入ってきてしまったので、詳細に書けないという課題が出てきています。ですので詳細を書くのであればやはり、このビジョンの将来像・基本理念から出さざるをえなくなってるんですが、そこまではしないということで先ほど、一応皆様のご意見が一致したと思いますので、このビジョンの中のこの項目で、基本構想の「組織」に該当するようなことが理解できるように、文章を落とし込めるかどうか、事務局のほうで検討させていただきたいと思います。本編7ページ目の下の運営方針の下は多少余白があります。どう表現すると、ビジョンから逸脱しない形で文章が書けるかどうか、少しお時間をいただいてまたご提示をさせていただければと思います。</p>
部 会 長	<p>一部文章を加える中で理解を深めてもらうようにするというので、変更した部分</p>

	<p>はもちろん後で皆さんにまたお送りします。それでよろしいですか。ありがとうございます。その他にいかがでしょうか。資料⑦-3と4に絡む本文の中で、改めて見たら、気が付いたことはありますか。</p>
委員	<p>(質問)</p> <p>本編23ページや資料⑦-3の区の考え方はどこで公表されるでしょうか。</p>
事務局	<p>12月19日の第7回協議会で決定された後に、本件とは別にパブリックコメントへの回答ということで公表するというスケジュールでございます。</p>
部長	<p>資料編もさらに充実してきました。お気づきになったところ、少しもし皆さんご感想をぜひまだ発言なさってない委員のほうからどうぞ。</p>
委員	<p>(委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボラセンの相談件数と登録者数、両方とも増えてるとなっているが、登録者数をもっと増やさないといけないと思う。 ・あくまでも今回立てたビジョンを実現するための基本理念っていう位置付けで、よいのか。ボランティアセンターの存在そのものの基本理念ではないっていう解釈であればこのままで大丈夫なんじゃないかなと思う。 ・日本語の教室だけでカバーできる問題ではないので、プラットフォームという形が、ルールが決まりシステムが運営してたときに、高島平のほうではで子供のところが出て来たので、何とかこの形を行政や学校等につなげていくことができることとかできるとよいと思う。 ・将来像のところの二重丸の「誰一人取り残されず、活動の多様性を認め協働し、地域課題を解決できる環境の整備を図ります。」の誰一人取り残されずではじまり、語尾が図りますというのが、何かすっきりこない。
事務局	<p>事務局からフォローさせていただくと、ここで言いたかったのは、「誰一人取り残されることなく、活動の多様性を」ということを表現したかったということだと思います。誰一人取り残されることなく、活動の多様性をなら、じっくりくるということでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>されずという部分がちょっと紋切り型に見えて何か着地がなんかしないっていうかその分の繋がりが、はい、すみません。</p>
部長	<p>腑に落ちました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>(委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像本文というか、タイトルの中で「誰もが」ってわざわざやわらかくしているのに、誰一人取り残されずというところ、あえてここに持つてくる必要がこうあるのだからなるべくこう解釈が運用の中で解釈しやすいようにしたらいいのではないか。
部長	<p>オブザーバーお二人もどうぞ。</p>
ボラセン所長	<p>はい。私から、事務局の職員の皆さんとここまで取りまとめていただいて、本当に感謝申し上げます。来年度以降、これに基づいて事業を進めていかなければならない部分もあって、身の引き締まる思いでもあります。2030年が目途ということで、せっかく今回災ボラのことを入れていただいておまして。本編の24ページに、板橋区の地域防災計画がこの資料として入れていただいておられます。これが入ることによってより区だったり、ボランティアセンターの役割、災害時の役割が明確になるかなとい</p>

ボラセン 副 所 長	<p>うふうに思うんですけども。ちょうど今地域防災計画を区も改定している中で、もし間に合うのであれば、その改訂されたものがここに反映されるといいかなというところとしてちょっと思ったところです。</p> <p>先ほど委員からお話のあった個人登録のところについてですが、従来の個人登録の考え方と、プラットフォームを構築していく中での、個人登録の考え方は、少し幅が広がってくるのかなというふうに考えると、今後の取り組みの中で少し取り組みと考え方を広げていかないといけないのかなというふうに思って、先ほどのご意見を伺っていたので、今後の取り組みに生かしていきたいというふうに思ったというのが1点です。それから2点目最後なんですけども、10ページの既存事業の整備の②のところに、地域活動を支える人材育成という言葉が入ってまして、これまでの協議会の中でのご意見としても、この人材育成のご意見は、多数寄せられていたのかなというふうに思っていてその文言がここに入ったんだと思うんですけども。少し言葉の整理をすれば、この地域活動という言葉が、ボランティア・市民活動の言葉と同義的な意味でとらえていいのかどうかというのは、少しあるのかなと思っていて、私なりの解釈としては、今回の11ページの方にも町会・自治会の役員の方とか地域の方のリーダーの方たちのその関わりみたいなことが記載されているので、そういう意味では従来のボランティア・市民活動と言われる、少し狭い対象者の方だけではなくて、プラットフォームという構築の中で、多様な人材が、ボランティアセンターとの関わりの中で、今後広がっていかねばいけないんだと。だからこの「地域活動を支える」という言葉がここに入ってきたのかなという解釈をしていますので、特段この地域活動に対する定義化が、この中に記載されていないので、そんな解釈だってよろしいですかというところを少し皆さんと、確認できればいいのかなと思って発言をさせていただきました。以上です。</p>
部 会 長	はい。ありがとうございました。はい。
委 員	<p>(委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文言整理とかいうふうな形で定義とかをビジョンに載せるか、載せないかは別としても、言葉については、意図がどういったものなのか、事務局のほうで整理をお願いできればと思う。 ・区との連携・協働という形で、区の担当部署の共通認識を持てるよう、地域との協働・連携や、横の行政の繋がりが持っていけるというのは良いと思う。 ・区の内部の関係での連携として。大体週1回庁議というものがあり、全部長が集まって、計画とかを共有したりする中に、今日のビジョンについても共有をさせていただいている。引き続き最終版が完成した暁にはそれを全庁展開し、意識を高めていただきたい。
部 会 長	最終案の形は今少し変更を事務局にお願いする部分も出ました。その他にもあれば。
委 員	<p>(委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンのところに戻るが、例えば図表のところだけ「ビジョン」に省略せずに、「運営ビジョン」にしてみたらどうか。本当の名称は「いたばし総合ボランティアセンターの運営ビジョン2030」だが、以下ビジョンという略称にするっていうことをコミットしてるので、以降全部ビジョンっていう言葉なんだと思う。文字数を考えると本文中は多分ビジョンの方がいいと思うが、図の中だけ運営ビジョンになると、運営方針と並んだときのその違和感とか、与えにくいのではないかな。

委 員	(質問) このパブリックコメントの件数っていうのは、これは多い方なのか。標準的な件数なのか。
事 務 局	まちまちですね、福祉とかの計画だと100件ぐらい集まるものもありますが、ないものは1件とか数件とかもあります。
部 会 長	この最終案、全体を通していただいた意見を事務局の方で再度詰めていただきながら、12月の協議会にまた提案していただくということをお願いしたいと思います。私も改めて最後に、本当に事務局の特に後半夏以降、いろんなことがこの中に、急に充実した形で、盛り込んでいただきまして、本当に事務局の皆さん心から感謝申し上げます。昨日改めてじっくり前から見通してみたんですけど、こんなに少し細かくやっていたら、改めてすごく感じております。これが冊子になったら、すごく見やすい形になるし、多分色がついてくると思いますので。それはすばらしいものになるかなと思います。あと、それから資料編も最初イメージしたよりも丁寧にたくさん取り入れていただき、変更がわかるようにできたかなと、私自身は自画自賛するものではないんですけども事務局には感謝したいなと思います。これがきっかけですからね。これからいっぱい皆さんの細かい課題が、どれ一つとっても何か、またみんなで助け合って支え合っていかなきゃいけないと思うので、システムの導入をするにあたって、どうやってどこまで幅広くボランティアの人々とらえていくかっていう登録するだけでも難しい、とてつもない作業だと思いますので、委員が言ったようにね、いろんな人が関わるんですけど。ボリューム感が持てるようになるので、今やっているボランティアの皆さんにどうやってまたつなげていくかが、期待されるものだと思います。皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。少し時間早いんですけども、特段なければよろしいですか。
事 務 局	はい。事務局の方から最後ご案内いたします。本日いただきましたご意見以外にも何かございましたら、期間短くて申しわけないんですが、11月10日金曜日までに、事務局宛にメール等でお送りいただくと助かります。本日のご意見とあわせて、ビジョンの最終案を事務局で作成し、部会長と部会長代理にまず確認をいただいた上で、委員の皆様へ送付をさせていただくということを想定してございます。今後作成する最終案につきましては、冒頭でもご説明申し上げたんですが、12月1日にはもう一度、区民環境委員会の方に報告を最終案ということで報告をさせていただき、12月19日の本当に最後の第7回協議会に提示させていただくという予定になってございます。次回の第7回協議会でございますが、12月19日の火曜日14時から。今度は場所が区役所本庁舎4階の災害対策室A・Bで開催をさせていただきます。その際、板橋区長の方から、最後に皆様のご協力・ご尽力に対しましてお礼を申し上げるという予定になっております。冒頭に参加できればいいんですが、公務がありましてですね。協議会の途中で入ってくるかもしれませんけれども。その場でですね、また皆様に区長のほうから直接お礼を申し上げさせていただきたいというふうに考えてございます。事務局からは以上です。
部 会 長	はい。ありがとうございました。それでは、また資料の皆さんへの配付もありますけども、ご確認の上また来月19日の最後の協議会でまた再会したいと思います。どうもありがとうございました。
所 管 課	区民文化部地域振興課 地域振興係 (電話 3579—2163)